

日時
11月19日 日
13:30 ~ 15:30

会場
広島国際会議場
地下2階コスモス②

入場料無料
定員100名
事前申し込み不要

アメリカ大統領と 広島・核兵器 — トルーマン・オバマ・トランプ —

講師



広島市立大学 国際学部教授
(米国ジャーナリズム、メディア学)
いのうえ やすひろ
井上 泰浩

近著に『世界を変えたアメリカ大統領の演説』(講談社)



広島市立大学 国際学部准教授
(アメリカ文化)
マイケル ゴーマン
Michael Gorman

近著(共著)に『<原爆>を読む文化辞典』(青弓社)

オバマ前大統領は現職のアメリカ大統領として初めて2016年に広島を訪れ演説を行いました。大統領として初めて、原爆による市民の犠牲に触れたオバマの演説の意義は非常に大きいものです。なぜなら、原爆投下を承認したトルーマン大統領が、「市民の犠牲を避けるため軍事基地である広島に原爆を投下した」と世界に告げたことによって、原爆と市民の犠牲は切り離されてきたからです。そして、トルーマン以来、アメリカ大統領は「広島」に触れることを避け続けてきました。

この講座では、原爆開発を決定したルーズヴェルトにまでさかのぼり、アメリカ大統領と原爆・核兵器との関係を振り返ります。「原爆は命を救った」と主張し続けたトルーマン、軍と産業が結びつくことの危険を訴えたアイゼンハワー、そして、核のない世界を唱えたオバマの歴代大統領と広島原爆投下や核兵器との関わりについて、日米両国の研究者が解説します。そして、現職大統領のトランプと現代の状況についても参加者の皆さんと考えてみたいと思います。

【写真提供】広島市広報課

【事業についてのお問い合わせ先】

公益財団法人広島平和文化センター国際交流・協力課
〒730-0811 広島市中区中島町1-5 (広島国際会議場3階)
TEL 082-242-8879 FAX 082-242-7452
URL <http://www.pcf.city.hiroshima.jp/ircd>
E-mail internat@pcf.city.hiroshima.jp

【講座についてのお問い合わせ先】

公立大学法人広島市立大学 社会連携センター
〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4-1
TEL 082-830-1764 FAX 082-830-1555
URL <http://www.hiroshima-cu.ac.jp>
E-mail office-shakai@office.hiroshima-cu.ac.jp



3つのひかり 未来をつくる
広島市立大学
Hiroshima City University